

◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
意見発表等の機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育	H22～26	H22年12月5日(日)田辺中央公民館で実施。発表者小、中学生12名。作品応募総数921名。参加者数約300名。
		社会教育		
		こども福祉		
☆16 ☆17 保育・教育内容や活動施設の充実(☆)	○保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	○家庭支援推進保育事業(☆)	こども福祉		公立4保育所に 各1名の保育士配置
	○保育所園庭の芝生化	こども福祉		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善(☆)	こども福祉		○保育所 河原保育所の園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を実施
		教育総務室		○小学校 耐震補強工事に併せて、田辺小学校南校舎棟(西側)の大規模改修工事を実施した。田辺東小学校について、中校舎棟の改築工事を実施した。 ○中学校 田辺中学校中校舎棟について、改築工事を実施した。 ○幼稚園 田辺東幼稚園、三山木幼稚園の園庭整備を実施し、施設の維持管理及び教育環境の改善を図った。
	○図書館活動の充実 ・図書の充実 ・点字図書作成 ・手作りの本講習会等 ・移動図書館 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育		市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、3-(1)-①)	社会教育		家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人
○特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。		
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)-⑤、3-(1)-⑥)	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校397千円、中学校141千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者38人
	○進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	○国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。
	○情報教育の充実① ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校ではコンピュータ教室を整備して、合わせて400台を設置した。 中学校でもコンピュータ教室の機器の更新を行った。また、国のICT環境整備の事業により89台の大型デジタルテレビを幼小中に導入し、指導の効果を高めるICT活用が進んできている。 校務用パソコンが教職員に100%貸与されており、校務において非常によく活用されている。 教職員のICT活用能力も向上し、授業のための資料収集や教材作成、児童生徒の宿題等の作成に広く活用されている。
	○情報教育の充実② ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。

◎ 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	②	子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	○京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員、主任児童委員への活動費の助)	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	○民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	○保育所における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉	H22～26	年間1,112人から相談を受けた
	○児童館における相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	こども福祉		保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	○家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール) (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯
	○地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉		支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	○相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たった関係部署等との連携強化等	こども福祉		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園教諭の研修会への参加。要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する
	○10か月児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉		年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	○2歳児発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉		年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	○乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉		年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	○発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(2)-②、2-(3)-②)	こども福祉		実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業開始 公立3保育所91人実施
	○転入時アンケート (再掲1-(1)-①、1-(2)-①、2-(3)-②)	こども福祉		転入者346人中 290人回収(83.8%)
学校等における相談体制の充実	○幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(3)-②)	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。

◎ 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	③	不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)(☆)	○児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	○家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	こども福祉		延べ1,619人・1,256世帯
	○小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-①、2-(1)-②、2-(3)-②)	学校教育		○教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	○小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談(☆) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-②)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-⑥、2-(3)-②)	学校教育		○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人

◎ 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	④	子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
教育活動の充実	○職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	こども福祉 学校教育	H22～26	年間、延べ213人が受研した 初任者については、年2回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の教員対象に年3回研修会を開催し、更に年2回幼稚園での保育実習参観を行い、試験交換を図った。
	○指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導	学校教育		小学校1年生に学級運営支援員を配置した(三山木小、田辺東小、草内小)。
	幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	学校教育		H22～26
小・中学校の連携強化	○小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修(授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22～26	中学校ブロックによる合同研修 1回/学期 市教育研究会 1回/年
社会体育活動に係る情報提供	○広報紙・ホームページ等による情報提供	社会体育	H22～26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、市教育委員会社会体育課HP等で情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	○市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会体育	H22～26	市民体育大会 18種 1677人 少年交流大会124人 市民マラソン大会 505人 市陸上競技大会532人 水泳記録会111人 市民駅伝大会40チーム295人 市ハンドボール大会 49チーム451人 市ハンドボール交流大会 68チーム 606人
	○スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	社会体育		幼児水泳教室87人 小学生水泳教室116人 障害児水泳教室6人 親子体操教室50組100人 少年スポーツ教室(中央) 47人 少年スポーツ教室(ハンド) 306人
	○健康体づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等	社会体育		生涯スポーツフェスティバル2010 3000人 市民プール無料開放 こどもの日 501人
スポーツクラブ等の育成	○スポーツクラブ等の育成 ・京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)の育成	社会体育	H22～26	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い、補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援
野外活動センターの運営の充実	○野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会体育	H22～26	野外活動に親しむ日 255人 夕涼みのつどい 83人 野外活動の集い 281人 わくわく体験クラブのべ1625人
地域組織によるスポーツの推進	○地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会体育	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 のべ4076人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 のべ66人 水泳指導者研修会 23人
運動公園施設の設備の充実等	○運動公園施設の設備の充実等	社会体育	H22～26	中央体育館及び有料公園施設の大規模修繕を行った。 田辺公園プールのリニューアル工事を行った。
青少年関係団体の育成・支援	○各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月10日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会 10月23日親睦スポーツ大会実施

◎ 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑤	創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
自然の中での体験学習の充実	○野外活動のついで (再掲3-(2)-①)	社会体育	H22～26	野外活動の集い 281人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲3-(2)-①)	社会体育		野外活動に親しむ日 255人
	○土曜わくわく体験教室 (再掲3-(2)-①)	社会体育		わくわく体験クラブのべ1625人
	○夕涼みのついで (再掲3-(2)-①)	社会体育		夕涼みのついで 83人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3～4回の体験活動の機会を提供) (再掲3-(1)-①、3-(1)-②)	社会教育	H22～26	9地域委員会 合計67事業 参加者総数 8,794人
図書館事業の推進	○夏休み子どもフェスティバル (手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育	H22～26	中央館 人形劇 約290人 絵巻物紙芝居 85人 ヨーヨーつり 約350人 北部分室 腹話術と人形劇 195人 手づくり会 65人 中部分室 ヨーヨーつり 約180人 英語のおはなし会 29人 人形劇 約100人 手づくり会 約30人
	○おはなし会 (再掲1-(1)-①)	社会教育		中央館 61回・1,176人 北部分室 57回・649人 中部分室 27回・470人
	○図書館活動の充実 (再掲2-(1)-①)	社会教育		市内20箇所でのステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
国際交流の推進	○海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22～26	・テュービンゲン大学同志日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生15名が普賢寺小学校訪問 秋期:留学生11名が桃園小学校訪問 ・ウイラル市との絵画交換、展示 本市429名、ウイラル市501名の作品を交換。中央公民館、北部・中部住民センターで展示会を開催。
	○多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のついでへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	○国際交流体験の支援(ホームステイ受け入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受け入れなど)28件 Bタイプ(海外留学など)36件

◎ 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑥	子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
児童館事業の推進	○なかよしクラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	こども福祉	H22～26	延べ利用者数 9,752人
豊かな人間性を育む教育の推進	○適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-③、2-(3)-②)	学校教育	H22～26	○適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進 (再掲3-(1)-①)	社会教育	H22～26	新規開設地域は、なかった。42区・自治会のうち14箇所継続実施。
☆ 放課後子どもプランの充実 (☆)	○放課後子どもプラン(☆) (再掲1-(3)-②)	社会教育	H22～26	年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3677人

☆
15

◎ 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	⑦	子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
★4 ☆19 各種手当の支給による支援(★)	○高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	こども福祉 社会福祉	H22~26	申請者18名 公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	○子ども手当(★)	こども福祉		支給児童 延べ93,464人 支給総額 1,215,032,000円 児童数(中学3年生まで対象拡大) 9,600人 受給者数 5,660人
	○児童手当	こども福祉		支給児童 延べ13,248人 支給総額 86,520,000円 児童数 6,523人 受給者数 4,016人
	○児童扶養手当(☆) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	○母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		申請者471名
	○交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)-③)	こども福祉		申請者3名(児童数4名)
	○市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)-③)	こども福祉		支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	○特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)-②)	こども福祉		受給者数:101名
	○市中心身障害児児童特別手当 (再掲2-(2)-②)	こども福祉		支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円
	☆4 子育て支援医療費の助成(☆)	○子どもの医療費の助成(☆) (再掲1-(1)-⑤)		こども福祉
不妊治療費助成	○不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)-①)	こども福祉	H22~26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ30人
保育・教育費用の負担軽減	○保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	こども福祉	H22~26	対象67人に保育料の減免
	○幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者374人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園19園に補助を実施した。実績32,658,900円。 市立幼稚園在園保護者延べ18人に対して518,000円の減免措置を実施した。
	○各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)-②)	学校教育		市立小学校児童580人及び中学校生徒425人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額小学校4,060千円、中学校6,375千円。 小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,617千円、中学校1,848千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校590人 37,425千円、中学校276人、12,831千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	○留守家庭児童会負担金の減免	社会教育		生活保護世帯の負担金を全額免除